

# まちづくりNEWS

旭川市総合計画市民検討会議

第3分科会 vol.4

平成26年9月30日

(発行元)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

TEL/FAX 26-0338

(委託者)

旭川市総合政策部総合計画課

## 旭川市総合計画市民検討会議 第3分科会の第4回会議が行われました！！

9月2日（火）に旭川市総合計画市民検討会議第3分科会の第4回会議が開催されました。

この第3分科会では平成28年度以降の新たな総合計画の策定に向けた検討を行うため、これからの旭川市の「安全・都市基盤」について議論を行っています。

今回の会議では、提言書の検討、他の分科会から第3分科会への意見の検討、都市像（キャッチフレーズ）の検討などを行いました。

以下に当日の主な意見交換の要旨を記載します。



### 市民検討会議の主なスケジュール



### 都市基盤について

- ・次期総合計画は比較的右肩上がりであったこれまでと違い、人口減少・少子高齢化に向かうことが前提となっていることから、都市のダウンサイジングといったことをきちんと発信していかなければならない。
- ・人口減少とはあるが最小単位の町内として見た場合、高齢化、高齢者の一人暮らし等が増えていくため、まちの機能を維持するため、快適に暮らすためには、そのような状況にある市民の分布的な状況も押さえていかなければならないのではないか。

### 交通について

- ・公共交通とマイカーの相反する部分をどう表現するかということであるが、公共交通に重きをおくということで妥当だと思う。方向性を強く打ち出すことが必要であり、両論併記にすると伝わりにくい部分がある。「公共交通をあきらめない。」というインパクトある表現がされ、我々の思いが込められていると思う。

### 防災について

- ・様々な自治組織を含めて地域として災害対応できる協力組織を構築が必要。横のつながりをさらに強固にしつつ、地域住民の理解を深め、地域の防災体制を確立していくということが重要と考える。
- ・「災害が少ない」という地域特性があるが、あらゆる災害に対して「油断しない」という姿勢が重要である。
- ・「安心」と「安全」は異なる意味をもつ言葉  
→安全である認識をもって、その安全は危ういものということも認識する。

### 第3分科会(安全・都市基盤)の主なテーマ

- ①防災 ②消防・救急 ③交通安全・防犯 ④環境・リサイクル ⑤エネルギー ⑥都市基盤整備  
⑦交通 ⑧住環境 ⑨雪対策

## エネルギーについて

・エネルギー施策の方向性としては、「新しいエネルギーを生み出す」という視点もあるが、「使わない」という視点もあるのではないかと考える。特に住宅関係でいえば、より一層の高断熱高気密化を推進し、エネルギー消費量を抑えるということも重要なのではないかと考える。住環境、環境、エネルギーといったいずれの分野にも共通することである。

## その他

- ・救急車の適正利用
- ・運転中のスマートフォン使用の取り締まり強化
- ・空き家、高齢者の独居住宅の除雪対策



## 提言の方向について

- ・提言書の内容としては、最も重要となる「施策の方向」に重きをおいて作成しているかと思うが、この部分を強く訴えるような方向で検討する必要がある。
- ・総合計画は、このまち固有の課題や特徴に対しての施策等を述べるものであることを再度、意識した中で検討していかなければならないと思う。
- ・あまりたくさん盛り込みすぎるとそれぞれが希薄化する可能性がある。

## 都市像について

これまで意見として出された第3分科会としての都市像(キャッチフレーズ)は以下のとおり。

- 「より安全安心な住みよい街」
- 「災害に強い街」
- 「道北圏の防災センター」
- 「住みたいと思っている人たちにお裾分けをする街」
- 「北の田園都市」
- 「人口減少に果敢に取り組むまち」
- 「心して生きる町」

これらのキャッチフレーズに対して以下の意見が出された。

- ・「より安全安心な住みよい街」とあるが安全と安心は違う。安全は目指すものであるが、安心してしまうとそれは慢心して忘れることにつながる。この街は安全であるという認識はありつつも、その安全は危ういものであるということも認識しなければならない。旭川は「災害が少なく安全」という地域特性があっても、決して安心はしないという覚悟を込めて「安心」という文言は外した方がよい。
- ・キャッチフレーズはデコレーション的要素が強い。提言書はできるだけ削ぎ取って、ソリッドなものにしたい。
- ・次期総合計画は比較的右肩上がりであったこれまでと違い、明確に人口減少・少子高齢化に向かうことが前提となっていることから、都市のダウンサイジングといったことをきちんと発信していかなければならないと思う。(再掲)



第3分科会では、安全・都市基盤という幅広いテーマであるにも関わらず、各委員の皆様からは、専門的な知識や市民目線からの数多くの御意見をいただき、これまで4回に渡り、熱のこもった議論が行われてきました。

人口減少・少子高齢化や都市部の空洞化にどのように対応するのかという課題に対し、交通体系の再検討を含め、周辺との機能連携を図りながら、都市のダウンサイジングやコンパクトシティー化を効果的に進めていくことが重要であるとの大きな方向性が示されました。

## 今後の予定ほか

約半年にわたる検討結果を市民の皆さんにお知らせする「市民発表会」を11月11日(火)18時30分から市民文化会館小ホールで開催します。多くの皆さんの御参加をお待ちしております！